

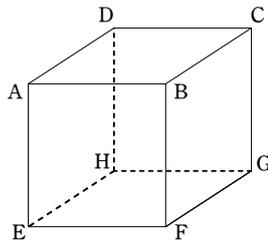
空間座標の設定の工夫

図のような1辺の長さ4の立方体 ABCD-EFGH がある。

線分 EC と線分 AG の交点を O とし、平面 AEGC 上に点 O を中心とする半径1の円を描く。

動点 P がこの円の周上を動くとき、次の問いに答えよ。

- $\overrightarrow{PA} \cdot \overrightarrow{PD}$ の最大値を求めよ。
- (1) の点 P から面 EFGH に下ろした垂線の長さを求めよ。

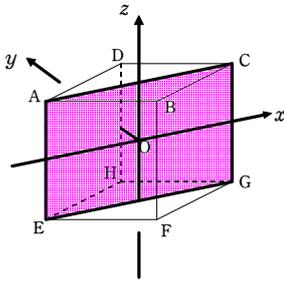


< '88 信州大 >

【戦略】

斜めの平面上の円が扱いにくいので、今回の円を真正面から見る形で設定を考えます。

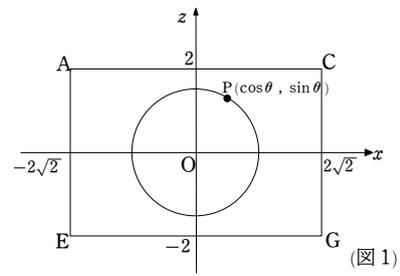
つまり



という設定を考えます。

この設定さえしてしまえば、 $P(\cos \theta, 0, \sin \theta)$ と簡単に表せますから \overrightarrow{PA} , \overrightarrow{PD} も θ を用いて表現でき、 $\overrightarrow{PA} \cdot \overrightarrow{PD}$ が θ の式で立式でき、結局は三角関数の最大最小問題になります。

【解答】



- (1) (図1) のように、O を原点、平面 AEGC を xz 平面 $A(-2\sqrt{2}, 0, 2)$, $D(0, 2\sqrt{2}, 2)$ と設定する。

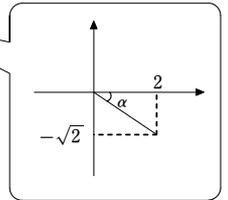
$P(\cos \theta, 0, \sin \theta)$ ($0 \leq \theta < 2\pi$) とおくと

$$\overrightarrow{PA} = \overrightarrow{OA} - \overrightarrow{OP} = \begin{pmatrix} -2\sqrt{2} \\ 0 \\ 2 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} \cos \theta \\ 0 \\ \sin \theta \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -2\sqrt{2} - \cos \theta \\ 0 \\ 2 - \sin \theta \end{pmatrix}$$

$$\overrightarrow{PD} = \overrightarrow{OD} - \overrightarrow{OP} = \begin{pmatrix} 0 \\ 2\sqrt{2} \\ 2 \end{pmatrix} - \begin{pmatrix} \cos \theta \\ 0 \\ \sin \theta \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -\cos \theta \\ 2\sqrt{2} \\ 2 - \sin \theta \end{pmatrix}$$

$$\begin{aligned} \overrightarrow{PA} \cdot \overrightarrow{PD} &= (-2\sqrt{2} - \cos \theta) \cdot (-\cos \theta) + 0 \cdot \sqrt{2} + (2 - \sin \theta)^2 \\ &= 5 - 2(2 \sin \theta - \sqrt{2} \cos \theta) \\ &= 5 - 2\sqrt{6} \sin(\theta - \alpha) \end{aligned}$$

ただし、 α は
$$\begin{cases} 0 < \alpha < \frac{\pi}{2} \\ \sin \alpha = \frac{1}{\sqrt{3}} \dots (*) \\ \cos \alpha = \frac{2}{\sqrt{6}} \end{cases}$$



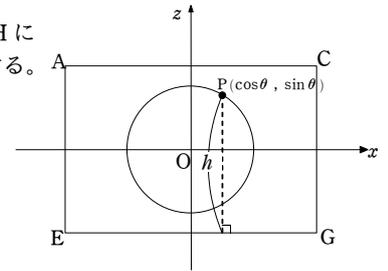
を満たす

$0 \leq \theta < 2\pi$ より、 $-\alpha \leq \theta - \alpha < 2\pi - \alpha$ であるので、

$\theta - \alpha = \frac{3}{2}\pi$ のとき、 $\overrightarrow{PA} \cdot \overrightarrow{PD}$ は最大値 $5 + 2\sqrt{6}$ をとる。… 図

- (2) (1) のとき、P から平面 EFGH に下ろした垂線の長さを h とする。

$$\begin{aligned} h &= (\text{P の } z \text{ 座標}) - (-2) \\ &= \sin \theta + 2 \end{aligned}$$



$$\theta - \alpha = \frac{3}{2}\pi \text{ より、} \theta = \alpha + \frac{3}{2}\pi$$

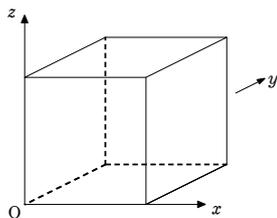
$$\begin{aligned} \text{これより、} h &= \sin\left(\alpha + \frac{3}{2}\pi\right) + 2 \\ &= -\cos \alpha + 2 \end{aligned}$$

(*) より、 $\cos \alpha = \frac{2}{\sqrt{6}}$ であるから

$$h = -\frac{2}{\sqrt{6}} + 2 \text{ で、整理すると } h = \frac{6 - \sqrt{6}}{3} \dots \text{ 図}$$

【総括】

立方体について座標設定しようと思ったら



と辺に沿って座標軸を設定するのが普通ですが、それだと今回の円を式で表すのが困難になります。